

かみかすや わだうち
上粕屋・和田内遺跡 10 区

伊勢原市 No.206 遺跡



1. 近世 調査区全景



2. 近世 溝状遺構・杭列

● 主な調査成果

近世の耕作地に関する杭列や溝が発見されました。調査地は、現代の地図では、田んぼと記されています。近世・近代の絵図・地図などでも田んぼの記載は見られます。本遺跡では、弥生時代後期～古墳時代前期、古墳時代後期～平安時代の集落が確認できます。おそらく、古来より、集落の前面に広がる谷水田として利用していたのでしょう。近世における水田の痕跡は、よく分かりませんでしたが、杭列や溝はその一端を窺うことができます。これまでの調査で、近世における斜面の裾では畠の痕跡が確認され、区画の溝も検出されています。僅かな段差で水田と畠を使い分けていたようです。

- 調査期間 2022年11月1日～ 調査中
- 事業者 国土交通省関東地方整備局
- 調査原因 一般国道246号(厚木秦野道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 近世、中世、奈良・平安、古墳、縄文
- 所在地 伊勢原市上粕屋
- 遺跡位置 小田急小田原線伊勢原駅の北西約3kmの小谷戸崖裾及び谷戸内

